



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月5日

上場会社名 株式会社 薬王堂 上場取引所 東  
 コード番号 3385 URL http://www.yakuodo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西郷 辰弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小笠原 康浩 (TEL) 019-697-8480  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	62,256	10.5	2,679	2.4	3,151	11.1	2,147	19.4
29年2月期第3四半期	56,348	12.7	2,617	32.3	2,837	30.2	1,799	39.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	108.81	—
29年2月期第3四半期	91.15	—

(注) 当社は、平成28年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成29年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	36,896	16,142	43.8
29年2月期	32,346	14,369	44.4

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 16,142百万円 29年2月期 14,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	19.00	19.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	10.8	3,444	8.1	3,972	13.2	2,542	8.9	128.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年2月期3Q	19,741,200株	29年2月期	19,741,200株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年2月期3Q	975株	29年2月期	975株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年2月期3Q	19,740,225株	29年2月期3Q	19,740,395株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成28年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成29年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期損益計算書関係) .....	6
(追加情報) .....	6
3. その他 .....	7
(1) 仕入及び販売の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、米国の政策運営や北朝鮮情勢などにより、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社の営業基盤であります東北地方においては、復興需要の収束による停滞感がみられるなど、依然として厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社は、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを岩手県に4店舗、青森県に4店舗、秋田県に3店舗、宮城県に5店舗、山形県に3店舗の合計19店舗を新規出店いたしました。また、岩手県のドラッグストア2店舗を退店し、当第3四半期会計期間末の店舗数は238店舗（うち調剤併設型3店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は622億5千6百万円（前年同四半期比10.5%増）、営業利益は26億7千9百万円（前年同四半期比2.4%増）、経常利益は31億5千1百万円（前年同四半期比11.1%増）、四半期純利益は21億4千7百万円（前年同四半期比19.4%増）となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

#### ① ヘルスケア部門

医薬品は感冒薬や健康食品等が伸張し、衛生用品では介護用紙おむつ等が伸張いたしました。調剤も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比6.3%増加し、138億7千2百万円となりました。

#### ② ビューティケア部門

化粧品はセルフ化粧品や男性化粧品等が伸張し、トイレタリーではオーラルケアやボディソープ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比8.1%増加し、105億8千4百万円となりました。

#### ③ ホームケア部門

日用品は仕上剤や家庭紙、台所用品等が伸張し、衣料品ではタオル類や履物、肌着等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比12.5%増加し、82億4千4百万円となりました。

#### ④ コンビニエンスケア部門

食品は飲料や菓子、日配品等が伸張し、酒類ではビール類や酎ハイ等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比12.9%増加し、295億5千5百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の流動資産は162億8千6百万円となり、前事業年度末に比べ25億9千万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、現金及び預金が3億9千2百万円増加したと新規出店等に伴う商品の増加が18億8千4百万円あったことがあげられます。

固定資産は206億1千万円となり、前事業年度末に比べ19億5千9百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規出店に伴う建物等の有形固定資産の増加が17億8千3百万円あったことがあげられます。

この結果、資産合計は368億9千6百万円となり、前事業年度末に比べ45億4千9百万円の増加となりました。

流動負債は157億3千3百万円となり、前事業年度末に比べ24億6千7百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、買掛金が22億5百万円増加したことがあげられます。

固定負債は50億2千1百万円となり、前事業年度末に比べ3億1千万円の増加となりました。

この結果、負債合計は207億5千4百万円となり、前事業年度末に比べ27億7千7百万円の増加となりました。

純資産合計は161億4千2百万円となり、前事業年度末に比べ17億7千2百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、利益剰余金の増加が17億7千2百万円あったことがあげられます。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間においては、概ね計画通りに推移していることから、平成29年4月7日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,683	2,075
売掛金	248	351
商品	10,373	12,257
貯蔵品	16	5
その他	1,374	1,597
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,696	16,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,696	14,497
土地	686	686
その他(純額)	1,439	1,422
有形固定資産合計	14,822	16,606
無形固定資産		
	200	287
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,543	2,526
その他	1,083	1,190
投資その他の資産合計	3,627	3,716
固定資産合計	18,650	20,610
資産合計	32,346	36,896
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,185	10,391
1年内返済予定の長期借入金	1,953	2,080
未払法人税等	761	588
賞与引当金	391	215
ポイント引当金	167	227
店舗閉鎖損失引当金	81	72
その他	1,724	2,158
流動負債合計	13,265	15,733
固定負債		
長期借入金	3,650	3,864
資産除去債務	814	933
その他	245	223
固定負債合計	4,710	5,021
負債合計	17,976	20,754

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,331	1,331
利益剰余金	11,957	13,730
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,368	16,141
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	0
評価・換算差額等合計	1	0
純資産合計	14,369	16,142
負債純資産合計	32,346	36,896

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	56,348	62,256
売上原価	43,619	47,846
売上総利益	12,728	14,410
販売費及び一般管理費	10,111	11,730
営業利益	2,617	2,679
営業外収益		
受取利息	21	19
受取事務手数料	86	90
受取補償金	—	※ 253
固定資産受贈益	34	42
その他	95	90
営業外収益合計	238	497
営業外費用		
支払利息	15	12
固定資産除却損	—	12
その他	2	0
営業外費用合計	18	25
経常利益	2,837	3,151
特別損失		
退職給付制度終了損	37	—
特別損失合計	37	—
税引前四半期純利益	2,799	3,151
法人税、住民税及び事業税	1,072	1,121
法人税等調整額	△71	△117
法人税等合計	1,000	1,003
四半期純利益	1,799	2,147

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※ 受取補償金の内容

第1四半期会計期間において、当社は大船渡駅周辺地区土地区画整理事業の支障となる大船渡茶屋前店の除却等を内容とする「物件移転補償契約」および「損失補償契約」を大船渡市と締結いたしました。

これに伴い、大船渡市より補償金305百万円を受領しております。なお、受領した補償金から建物等の除却に伴い発生する固定資産除却損41百万円と解体費用等9百万円を控除した金額を「受取補償金」として計上しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。



## 3. その他

## (1) 仕入及び販売の状況

## ① 仕入実績

当第3四半期累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	9,278	20.7	9,851	19.8	+6.2
ビューティケア	7,295	16.3	8,171	16.5	+12.0
ホームケア	6,252	14.0	6,980	14.0	+11.7
コンビニエンスケア	21,969	49.0	24,712	49.7	+12.5
合 計	44,796	100.0	49,715	100.0	+11.0

## ② 販売実績

## イ. 部門別販売実績

当第3四半期累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	13,055	23.2	13,872	22.3	+6.3
ビューティケア	9,792	17.4	10,584	17.0	+8.1
ホームケア	7,328	13.0	8,244	13.2	+12.5
コンビニエンスケア	26,172	46.4	29,555	47.5	+12.9
合 計	56,348	100.0	62,256	100.0	+10.5

## ロ. 地域別販売実績

当第3四半期累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青 森 県	6,871	12.2	7,581	12.2	+10.3
秋 田 県	6,213	11.0	7,248	11.6	+16.7
岩 手 県	24,471	43.4	25,945	41.7	+6.0
宮 城 県	14,625	26.0	16,548	26.6	+13.1
山 形 県	4,167	7.4	4,932	7.9	+18.4
合 計	56,348	100.0	62,256	100.0	+10.5